



あきらめないぞー！

安保法制が強行可決、成立して一年となった9月19日、国会前で安保法制廃止を求めるデモに参加した。雨の中、一年経っても違憲は違憲、私たちは、決してあきらめないぞーと2万3000人のコールが響いた。

「戦争する国、絶対反対！」「憲法守ろう、平和が一番！ 命が大事！」「駆けつけ警護は憲法違反！」「南スーダン派兵は違憲！」「誰にも子どもを殺させない！」「誰の子どもも殺させない！」「辺野古に基地はつくらせない！」「高江の自然をみんなで守ろう！」「貧困なくせ！ 格差をなくせ！」「憲法9条みんなで守ろう！」「憲法活かそう、みんなが主役！」「戦争法は必ず廃止！」「市民と野党は共闘！ 共闘！」
「あきらめないぞー！」「あきらめないぞー！」

この間、戦争法廃止を求める二十万署名にも取り組んできた。居住地の区議支持者宅を訪問したが、半数は留守、戦争の悲惨な体験をした方からも「中国や北朝鮮が攻めて来たら軍備を持たなくてどうするんだ」と署名は断られた。しかし三割弱の世帯から署名をいただけた。

東京女性講座に参加した30代の女性から、この一年間の活動報告があった。「友人に二十万署名を呼び掛けた。ブロック。シカト。離れた友人もいた。でも、分かってくれる友人がいた！」「これからも、周囲の知人と共に学習し、へこんでも絶対あきらめない」と。
頑張っても勝てないことが多い情勢。仲間と共に行動し、学習し、譲れないことをあきらめないために討論し、広げていく。この決意を強くした国会前集会だった。



『月刊まなぶ』企画編集委員 高原 康子